



三春中学校だより

第 29 号

発行日 平成 30 年 9 月 12 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【田村支部駅伝競走大会 ～“みらい”へたすきをつなぎました。～】

9月6日（木）は、田村支部中体連駅伝競走大会の日でした。

この日の大活躍を目標に、女子も男子も本当に一生懸命がんばりました。候補選手のみなさんは、他の生徒や先生方のバックアップをうけながら、酷暑の中、日々、厳しい練習に取り組んできました。

朝7時には登校し、運動着に着替えてグラウンドへ。校門でその練習風景を見ながら、特に印象的だったのは、いつも二人で先頭に立って練習に取り組んでいた2名の生徒でした。その生徒は、見事、当日、A・Bチームの第一走者として、花の1区のスタートラインに立ちました。“競走”なので選手選考にはタイムがものをいいますが、それだけではなく、練習や競技に、“ひたむきに、そして、こころ豊かに”取り組んだことがきちんと評価されての起用なのかなと、第一走者の2名の選手の力走する姿を見てそう考えました。

がんばればどこかで必ずみてくれる人がいる。少なくとも、自分自身は、決して手を抜かず全力で取り組み通したということを知っている。その気持ちはやがて、その人が生きていく上での自信となり、さらに、よりよい人生の選択ができるようになるのだと思います。走り終わった2名の第一走者の顔にはそんなすがすがしい笑顔が輝いていました。まさに、『命の輝き』をみた思いがしました。

一方で、走り終わってから悔し涙を流す生徒もいました。それだけひたむきにがんばり、自分のため、友のため、チームや学校のためにがんばろうという気持ちが強かったからなのでしょう。心の底から涙が湧いてきたのではないのでしょうか。その涙はとても大切な涙だと思います。本当に悔しがれる人は、本当にがんばった人、そして、これから必ず伸びられる人だと思います。暑さが、靴が、相手が、あの人がというのではなく、自分自身を深く見つめ、そこにある課題に気づき、共に解決策を考え、粘り強く努力して課題解決にあたる、学校教育がめざす『生きる力』のめざすところそのままのようです。努力をとことんしたからこそこの悔し涙です。そんな、ひたむきに、こころ豊かにがんばれる生徒が三春中学校にたくさんいたこともこの上ない喜びでした。『命の輝き』をもう一つ発見しました。

見る者に『感動』を与えてくれた選手のみなさん、それを毎日、ご指導いただいた顧問の先生方に心より敬意を表します。





【生徒会立会演説会、後期生徒会役員選挙！～生徒会を“あした”へつなぎました。～】

9月11日（火）の6校時目、体育館において、三春中学校後期生徒会役員を選ぶ立会演説会が行われ、その後、全校生による投票が行われました。

選挙運動期間中は、生徒昇降口の前に立候補者が並び、まずは、候補者としてのあいさつ運動に取り組んでいましたが、この日は、全候補者が体育館ステージに勢揃いし、それぞれが、自分が立候補した理由や生徒会役員としてのアピールをフロアの生徒に訴えていました。いずれもしっかりした主張となっており、さすが生徒会役員に立候補した生徒諸君だなと感心しながら、演説に耳を傾けました。

投票は、各学年の投票所で、学級ごとに行われ、記載台や投票箱は町選挙管理委員会からお借りした“本物”で行いました。投票箱上面から入れる生徒、側面から何とかねじ込もうとする生徒など、さまざまな投票風景でしたが、どの生徒も、未来の三春中学校生徒会役員を託すにふさわしい候補者という視点で、真剣に投票活動にあたっていました。

ステージ上に上がった立候補者全員が、明日からの三春中学校づくを真剣に考えているという観点から、みんながリーダーにふさわしい資質を備えている生徒のみなさんです。当落選に関係なく、明日からの三春中学校生徒会をどうぞよろしくお願いします。

